

ブリーダー
いち推し!

この品種 直売所で 売上アップをねらうなら

トマト

タキイ研究農場
いいつか もとなり
飯塚 元成

食味のよさ、秀品率の高さで 「桃太郎ワンダー」「CF桃太郎ファイト」

「桃太郎ワンダー」は夏秋栽培向けの大玉トマト品種です。特長は耐裂果性にすぐれ、秀品率が高く、食味がよいことがあげられます。

従来の「桃太郎」品種ではチッソ肥料が効いた際に、乱形果の発生が多くなることが課題でした。しかし、「桃太郎ワンダー」はきれいな豊円果形を維持しやすく、規格外品の発生が少ないことで、出荷率を上げることが可能です。



→
「桃太郎ワンダー」は食味のよい夏秋栽培用「桃太郎」です。玉がかたく裂果に強いのが特長です。

全国の夏秋産地でも導入実績があるため、ぜひ栽培に挑戦していただきたい品種となります。

従来の品種に比べ草勢が強く、水分要求量が高いため、栽培上の注意点としては元肥を抑えて灌水量を増やした栽培を心掛けましょう。

「CF桃太郎ファイト」は葉かび病耐病性(Cf9)をもつ食味のよい品種としておすすめです。「桃太郎ワンダー」のように暑い夏を乗り切る頑強さはもちませんが、低温期からじっくりと樹を作る「CF桃太郎ファイト」は半促成栽培などにも適しています。また、桃太郎品種の中でも糖度が高く、酸味の少ない食味は根強い人気があります。浅根で細根の多い特性は肥料への反応も素直で作りやすく、灌水の多い、少ないにも対応するため、しぼり栽培などへの導入実績もあります。味の差別化から、ぜひ「CF桃太郎ファイト」をお試ください。



→
「CF桃太郎ファイト」の果形は腰高でスムーズ、大玉で秀品率が高い。なにより糖度が高く食味がよいのが特長です。

ナス

タキイ研究農場
ふつき だいすけ
夫津木 大輔

単為結果性品種「PCお竜」で 小ナスどりに挑戦

春は、「PCお竜」の小ナスどりに挑戦してみませんか？ナスの一般的な収穫サイズは80～100 g ほどですが、小ナスは20 g 程度が収穫適期。ほどよくしまった肉質とブリップリのやわらかい皮が絶品の小ナスは、浅漬や天ぷらでおなじみの食材です。目新しいサイズのナスを陳列して、ほかの商品との差別化を図りましょう。

「PCお竜」はコンパクトで芽吹きが非常によい単為結果性品種です。花数が多く収穫の回転も早い多収品種で、開花した花はほぼすべてが着果する「PCお竜」は、小ナスどりに適した品種と言えるでしょう。

また小ナスどりで収量アップを目指すなら、1本の側枝から2果収穫することをおすすめします。通常は1花で側枝を摘芯してしまうところですが、樹勢が維持できるようなら2花残して摘芯し、花数を稼ぐことも可能です。ただし、以下の点に注意しましょう。①過繁茂になると、果実の色乗りが悪くなります。側枝から発生するわき芽は基部

の1つに制限し、果実に光が届きやすくなるよう工夫します。②収穫が遅れると着果負担が増加します。草勢の変化に合わせて、花数を調整してください。



←単為結果性品種「PCお竜」は開花した花がすべて着果肥大するなり込みタイプです。1本の側枝から2果収穫するのがおすすめです。



↑「PCお竜」は幼果の形や色がよく、小ナスどりにして浅漬や天ぷらにすれば絶品！

カボチャ

タキイ研究農場
さかぐち けいたろう
阪口 敬太郎

食味、食感にこだわって 「ほっこり姫」「ロロン」

店内カットの必要がなく、直売で扱いやすいミニカボチャ。中でも多収が期待できる「ほっこり姫」を使って出荷量を増やして売り上げアップをねらいましょう。栽培ポイントは、6節目以降の雌花を連続して着果させることです。確実に着果させるため、人工交配をおすすめします。着果した1つ目の果実がピンポン球より少し大きくなったところに追肥を施すと、草勢が維持できて多収な「ほっこり姫」の特性がより発揮されます。粉質感と甘みのバランスがよく、食味が魅力の「ほっこり姫」をぜひお試しください。



←
手のひらサイズのミニカボチャ「ほっこり姫」。高粉質に加え肉質が緻密で食味・食感にすぐれています。

また、スーパーでは手に入らないプレミアムなカボチャ、「ロロン」でリピーターを獲得しましょう。人それぞれに好みは異なるものですが、私は一番おいしいカボチャに「ロロン」を推します。濃厚な甘みと緻密で滑らかな肉質は、ほかの品種と一線を画すおいしさで、煮物やスープのほか、プリンやケーキなどのスイーツにも相性抜群です。「ロロン」本来のおいしさを引き出すために、①適期収穫（授粉後45日、果梗部のコルク割れが横方向にも入ったところ（写真））、②収穫後の風乾（風通しのよい日陰に1週間）を確実にしましょう。



←
ラグビーボールのような形がユニークな「ロロン」。濃厚な甘みもち、とにかくおいしいです。

→
収穫は必ず果梗部全体がコルク化（コルク割れが横にも入ったところ）したのを目安にしてください。



キュウリ

タキイ長野研究農場
ばんば だいご
馬場 大悟

初期から収量を増やしたい方、 差別化をしたい方に「北進」「シャキット」

かなり古い品種ですが、初期からどんどん収穫できる「北進」をご紹介します！

定植後からの伸長が早く、初期から雌花が着生して、着果もよいので、21～22cmの良果が早い時期からまとまって収穫することができます。いつも長く収穫できる品種を選ぶが、結局途中で枯れてしまう、初期の収穫量を増やしたいという方におすすめします。栽培のポイントは定植後から積極的に灌水を行って活着と生育を促すことです。



←
初期からどんどんなる夏秋キュウリ「北進」。苗売りでも見かける。草勢が強く耐暑性にすぐれ作りやすい品種です。



←
食味のよい短形四葉キュウリ「シャキット」。歯切れのよい食感とみずみずしさが特長で、病気にも強い。

夏の暑さにも強く、「見た目」と「味」で差別化できる「シャキット」は、直売所の人気品種です。老若男女から親しまれる食感は、サラダや酢の物、漬物、炒め物、どんな料理にも万能です。また、イボの多い外観は、陳列棚でも見た目から印象付けてくれます。うどんこ病、べと病、ウイルス病(ZYMV)にも強く、草勢も強いので有機栽培や減農薬の特別栽培にも適しています。上作のポイントは①元肥を2～3割減らして収穫が始まるまで草勢を強くしすぎない、②寒さに弱いので定植の時期を早くしすぎない。この夏、ぜひチャレンジしてみてくださいはいかがでしょうか？

ピーマン

タキイ研究農場

たなか かなこ
田中 可奈子

肉厚でおいしい、 個性的な果形で目を引く「ニューエース」

通常の中型ピーマンとは形や食味が違う「ニューエース」は、早くから収穫ができる栽培しやすい品種です。中型ピーマンよりも肉厚で果実が大きくなるため売り場でも差別化できます。食味がよく食べ応えが十分! その形は肉詰め料理にもぴったりで、直売所では食べ方の提案ができます。

中獅子型の品種にとって長期間にわたり連続出荷していくためには草勢の維持が最も重要です。特に梅雨明け以降は高温乾燥、なり疲れにより、草勢が低下しがちです。こまめに灌水・追肥を継続することが必要です。灌水チュー



←↓
極早生で作りやすい「ニューエース」、肉厚で横張りのある果形は「ピーマンの肉詰め」にぴったり。直売所ではレシピを添えてどうぞ。



ブや畝間灌水などで十分水を与えることに加え、土壌表面の温度上昇と乾燥を防ぐために敷きわらをするのも効果的です。追肥は、10㎡当たりのチッソ量で液肥であれば10g程度を週1回、固形肥料であれば30g程度を2週間に1回を目安に施します。また過度な着果負担も草勢低下の原因の一つとなるので、できるだけ収穫をこまめに行いましょう。2〜3日おきぐらいに収穫するのが理想です。

エダマメ

タキイ研究農場

せの あきよし
瀬野 晃好

栽培のしやすさ、おいしさで 「富貴」「快豆黒頭巾」

夏の直売所の定番野菜といえばエダマメです。耐暑性があり環境の変化に左右されにくく莢付きのよい「富貴」、味のよい黒豆品種「快豆黒頭巾」をご紹介します。

「富貴」は晩霜終了後から6月中旬までまくことができる播種期幅の広い品種ですので、一品種で長期間の段まきに対応することができます。また、草勢が強く耐暑性ももつため、栽培が容易であるほか、3粒莢を多く収穫でき、良品を安定して出荷できるので、直売所向けにはぴったりの品種といえます。

「快豆黒頭巾」は、黒マメ特有のコクと強い甘みをもつ食

味のよい品種です。黒エダマメは一般的に抗酸化作用をもつポリフェノールの一種であるアントシアニンを多く含むと言われており、「快豆黒頭巾」は、おいしさとともに成分面でもすぐれた品種です。ぜひ栽培に取り組んでみてください。



↑大莢がたくさんつく食味のよい「富貴」、収量性の高い白毛種。3莢率がとても高い品種です。



↑黒マメ特有の甘みが際立つおいしい「快豆黒頭巾」、その良食味は直売所出荷におすすめです。

スイートコーン

タキイ研究農場

せの あきよし
瀬野 晃好

食味のよさと見た目の美しさで「ほしつぶコーン」 「ホイップコーン」「カクテル84EX」

新品種の「ほしつぶコーン」は大きく深い粒はしなびにくくコクのある甘さをもち、食べ応え抜群の品種です。また、倒れにくい頑丈な樹姿で、安心して栽培できます。

「ホイップコーン」は白粒のユニークな見た目が特長で、糖度が20度になることもある甘さ際立つホワイト種です。一度食べたら病みつきになるその甘さで、直売所の目玉商品になること間違いありません。

バイカラー種の「カクテル84EX」は粒色のコントラストが美しく、目を引きまします。これをうまく生かすには、粒をそのままサラダやスープに利用するレシピを一緒に展示するなど、お客さんが思わず手を伸ばしてくれる提案や工夫が

必要ではないかと思います。

3品種を同時に栽培する場合は、ホワイト種のキセニア対策としてほかの品種と300m以上離す、またはホワイト種をハウスで栽培することです。播種時期を2週間ずらして栽培し、リレー出荷するのも一つの方法です。



↑高糖度のイエロー種「ほしつぶコーン」。



↑白さ際立つホワイト種「ホイップコーン」。



↑秀品率の高いバイカラー種「カクテル84EX」。